

千葉大学病院にてひがし棟9階病棟に入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年3月7日

看護部

看護部では、入院患者における血糖測定の現状と測定回数が看護業務に与える影響に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2022年11月28日と2023年2月27日にアレルギー膠原病内科、腎臓内科。糖尿病・代謝・内分泌科でひがし棟9階病棟に入院された方

1. 研究課題名

「入院患者における血糖測定の現状と測定回数が看護業務に与える影響」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年12月31日

この研究は、千葉大学倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

患者さんの血糖測定状況や背景疾患および看護師の業務効率化のための現状把握と看護師が測定する時間やその根拠を明らかにすることを目的としています。

上記期間に入院された患者さんの入院情報を集積し、看護師から得たアンケートと合わせて千葉大病院にて統計解析が行われます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、治療歴、内服歴、血液検査値のデータを収集します。さらに、看護師には測定に要する時間と患者数を単純集計し、質問紙法を用いてステロイド糖尿病患者への血糖測定指示基準や測定回数の意義について把握しているかを調査のアンケートを取ります。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥精司

研究責任者：看護部 副看護師長 仁科 美保

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院看護部管理の下で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院看護部

看護師 仁科 美保

043(222)7171(代表) ひがし9階病棟代表 71411